

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 6月26日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 小 林 裕 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 7月15日 午前 9時00分から 令和 8年 7月22日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 7月28日 午前10時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 8月12日 午前11時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部民事第4部
特別売却 実施期間	令和 8年 7月29日 午前10時00分から 令和 8年 7月31日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行または損害保険会社の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 6月26日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 青梅市長淵四丁目 |
| | 地 番 | 4 8 1 番 5 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 3 0 . 9 4 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 青梅市長淵四丁目 4 8 1 番地 5 |
| | 家屋 番号 | 4 8 1 番 5 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 4 9 . 3 7 平方メートル
2階 4 3 . 1 8 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 8年 4月30日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 川 山 理 恵

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意



11

味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムの「お知らせ」メニュー内の各裁判所にある「競売ファイル・競売手続説明書」にも掲載されています。



令和8年(ケ)第8号
令和8年3月10日受理
令和8年4月10日提出
(評価人: 猿橋正和)

現況調査報告書

東京地方裁判所立川支部
執行官 佐治 憲彦

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 青梅市長淵四丁目 |
| | 地 番 | 4 8 1 番 5 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 3 0 . 9 4 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 青梅市長淵四丁目 4 8 1 番地 5 |
| | 家屋 番号 | 4 8 1 番 5 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 4 9 . 3 7 平方メートル
2階 4 3 . 1 8 平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり															
住居表示	東京都青梅市長淵四丁目481番地の5（住居表示未実施）															
土地	物件1															
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地（物件1） <input type="checkbox"/> 公衆用道路（物件 ） <input type="checkbox"/> （物件 ）															
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面（各階平面図）のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>															
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり															
下記以外の建物（目的外建物）	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）															
その他の事項	南側部分に簡易物置が設置されているが、定着性が認められないので、目的外動産と認定した															
建物	物件2															
種類、構造及び床面積の概略	<input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点が異なる（ <input type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物） <input type="checkbox"/> 種類： <input type="checkbox"/> 構造： <input type="checkbox"/> 床面積：															
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <tr> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>種類：</td> </tr> <tr> <td>構造：</td> </tr> <tr> <td>床面積：</td> </tr> </table>			{	種類：	構造：	床面積：									
{	種類：															
	構造：															
	床面積：															
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり															
上記以外の敷地（目的外土地）	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）															
その他の事項	屋根裏収納庫あり															
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">[</td> <td>地方裁判所</td> <td>支部</td> <td>令和</td> <td>年（ ）</td> <td>第</td> <td>号</td> </tr> <tr> <td>保管開始日</td> <td>令和</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td></td> </tr> </table>			[地方裁判所	支部	令和	年（ ）	第	号	保管開始日	令和	年	月	日	
[地方裁判所	支部	令和		年（ ）	第	号									
	保管開始日	令和	年	月	日											
土地建物の位置関係	<input type="checkbox"/> 建物図面（各階平面図）のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり															

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

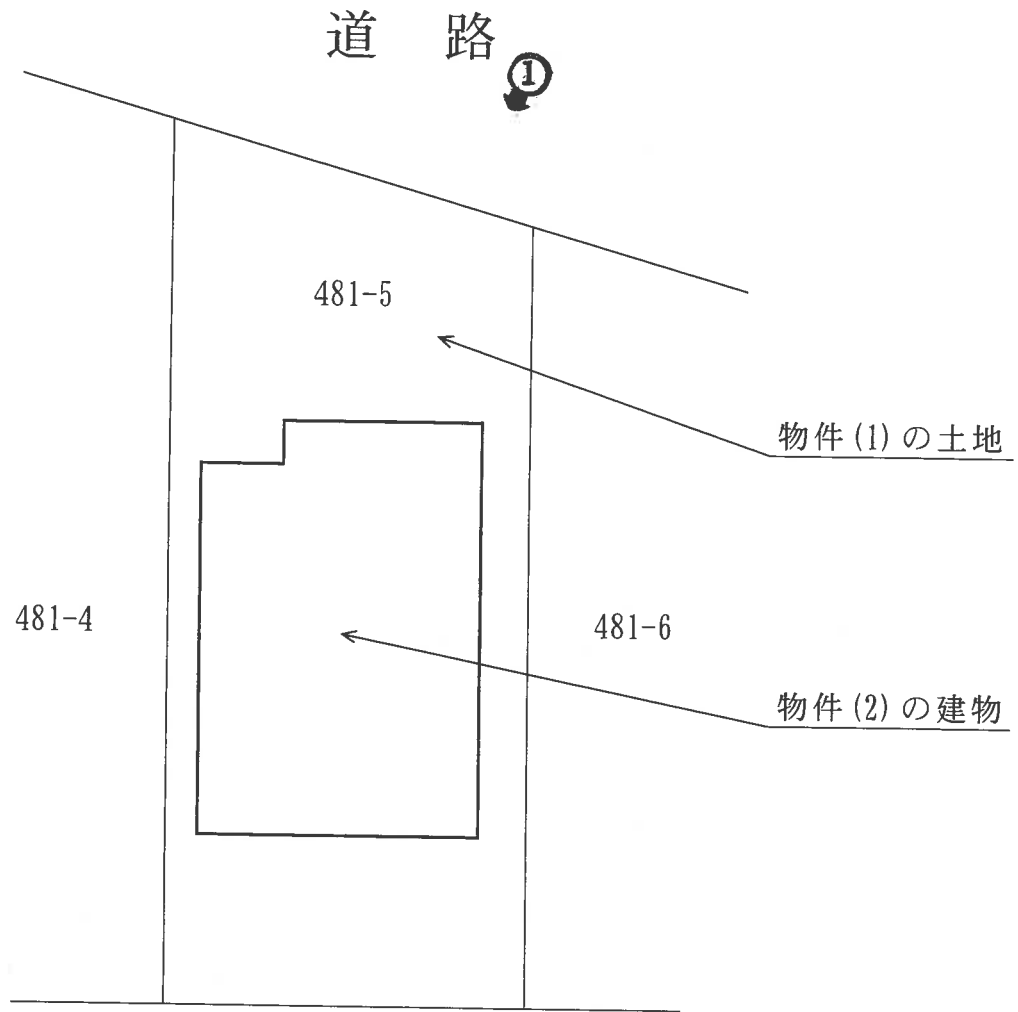
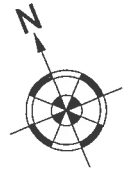
執行官の意見

- 1 本物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 本件建物は、令和8年3月27日の調査期日において、室内に立ち入ったところ、居宅として使用されており、LDには室内犬が2匹飼われていた。
- 3 本件建物の占有状況については、表札、郵便物の存在及び上記現場の使用状況から2枚目のとおり報告する。

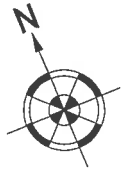
以上

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年3月12日 10:15-10:21	物件所在地	<input checked="" type="checkbox"/> 物件確認 <input checked="" type="checkbox"/> 物件調査 <input checked="" type="checkbox"/> 占有調査 <input checked="" type="checkbox"/> 外観写真撮影 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> 図面作成 <input type="checkbox"/> 写真撮影 <input checked="" type="checkbox"/> 居住者に対し、臨場日時通知書差置
令和8年3月27日 13:25-13:50	物件所在地	<input checked="" type="checkbox"/> 立入調査 <input checked="" type="checkbox"/> 物件調査 <input checked="" type="checkbox"/> 占有調査 <input checked="" type="checkbox"/> 写真撮影 <input checked="" type="checkbox"/> 図面作成 <input checked="" type="checkbox"/> 評価人同行
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 <input checked="" type="checkbox"/> 令和8年3月27日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 A を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 <input checked="" type="checkbox"/> 写真3枚添付		

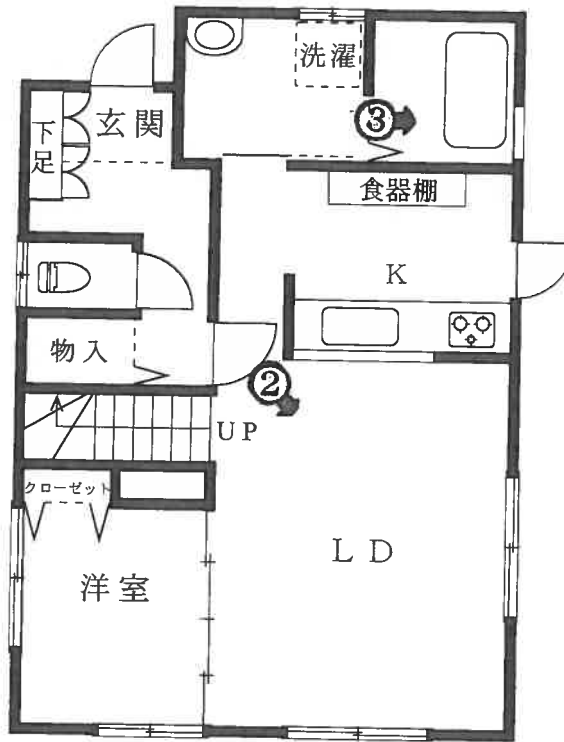
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



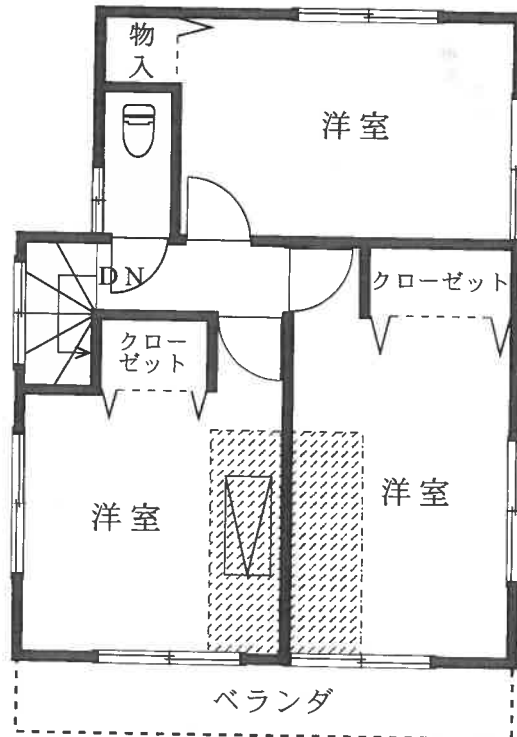
←○: 写真撮影位置と方向



1 階



2 階



←○: 写真撮影位置と方向

1



2



3



(7 枚目)

令和 8 年（ケ）第 8 号
令和 8 年 3 月 27 日 現地調査
令和 8 年 4 月 13 日 評 価

東京地方裁判所立川支部
民事第 4 部不動産執行係 御中

評 価 書

評価人 猿橋 正和

第1 評価額

一括価格	
金 11,520,000 円	
内訳価格	
物件1 (土地)	金 2,220,000 円
物件2 (建物)	金 9,300,000 円

- 1 一括価格は、物件1及び物件2の各不動産について、一括売却（民事執行法第61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は、物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は、当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法第58条第4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	次頁物件目録記載のとおり		同左
2	次頁物件目録記載のとおり		同左
番号	特記事項		
	特になし		

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 青梅市長淵四丁目 |
| | 地 番 | 4 8 1 番 5 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 3 0 . 9 4 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 青梅市長淵四丁目 4 8 1 番地 5 |
| | 家屋 番号 | 4 8 1 番 5 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき 2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 4 9 . 3 7 平方メートル
2階 4 3 . 1 8 平方メートル |



第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	J R 青梅線「東青梅」駅の南方道路距離約1.5km、最寄りバス停留所から約60m（徒歩約1分）に位置する。 （附属資料「位置図」参照）	
付近の状況	近隣は多摩川の南方、市立第二小学校の南側に位置し、低層店舗、戸建住宅、駐車場等が混在する「吉野街道」沿いの地域である。	
主な公法上の規制等 （道路の幅員等の個別の規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 近隣商業地域 80% 300% 準防火地域 第2種高度地区 日影規制（一） 宅地造成等工事規制区域 青梅市の美しい風景を育む条例 東京都景観条例
画地の状況	地形 間口・奥行 地勢 その他	130.94㎡ 台形 間口約7.8m・奥行約16.4～18.6m 物件2建物が存する宅盤面は概ね平坦で、南側隣接地より約1.2m低い。南側の境界付近には高さ約1.2mの石積み擁壁が存する。 法務局備付の地積測量図（平成21年8月作成）が存する。
接面道路の状況等	北東側が幅員約16mの舗装国道（建築基準法第42条第1項第1号及び同第42条第1項第4号に該当）に概ね等高に接面する。	
土地の利用状況等	物件1土地は物件2建物の敷地として利用されている。物件2建物の北東側に大部分が未舗装の駐車スペースがある。 （建物の配置は附属資料「建物図面・各階平面図写」参照）	
供給処理施設 （基本的には敷地内への引き込みの有無を基準としている）	上水道 都市ガス 下水道	有り 無し（プロパンガスを使用） 有り

土地の履歴等	<p>過去の住宅地図で地歴を調査したところ、昭和48年及び同62年当時は店舗等として利用されていたことが確認された。青梅市役所等での調査の結果、土壤汚染対策法に基づく要措置区域等には該当しない。また、東京都環境確保条例に基づく工場・指定作業場、水質汚濁防止法、並びに下水道法に基づく特定施設等の届出はいずれもなされていない。厳密に土壤汚染の有無を判定するには、別途専門調査機関による調査等を実施することが必要である。</p>
特 記 事 項	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 物件2建物の建築計画概要書では、南側に存する石積み擁壁は「設計者による安全確認済」と記載されていたが、現在の法規制に則って安全性が現在も確保されているか否かについてはわからないため、注意を要する。 ○ おうめ地図情報システムによると、浸水した場合に予想される浸水深は0.1～0.5m未満の区域に該当する。 	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物	
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載） 経 過 年 数 経済的残存耐用年数	平成21年9月17日新築 約17年 約8年
仕 様	構 造 屋 根 外 壁 内 壁 天 井 床 設 備 そ の 他	木造2階建 スレート等 サイディング等 クロス貼等 クロス貼等 フローリング等 水廻り等 2階にはベランダのほか、屋根裏収納がある。
現況床面積	1階： 49.37㎡ 2階： 43.18㎡ <hr/> 延 92.55㎡	
現況用途等	現況用途 間 取 り	居宅（4LDK） 1階：LDK、洋室、洗面所、浴室、トイレ等 2階：洋室（3）、トイレ等
品 等	中 位	
保守管理の状況	普 通	
建物の利用状況等	現況調査報告書のとおり ○占有減価の要因はない。	
特 記 事 項	○検査済証の発行（平成21年9月26日）記録がある。 ○屋根の色あせのほか、外壁や雨樋には変色・汚れ等が見られた。 ○クロスには汚れ・亀裂のほか、損傷等が確認された。 ○室内で小型犬2匹が飼われている。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	更地価格		地 積 (m ²) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) オ=ア×イ×ウ×エ
	標準画地価格 (円/m ²) ア	個別格差 イ			
1	80,800	× 0.97	× 130.94	× 0.90	= 9,240,000

※総額（円）については、万円未満四捨五入とした。（以下同じ）

ア 標準画地価格：下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。

なお、標準画地は、近隣において土地の概況（間口、奥行、規模等）及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

【地価公示地 青梅-26】

$$\begin{array}{cccccc}
 \text{(公示価格)} & & \text{(時点修正)} & & \text{(標準化補正)} & & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\
 76,800\text{円/m}^2 & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{95} & = & 80,800\text{円/m}^2 \\
 & & & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時 点 修 正：令和8年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標 準 化 補 正：地価公示地の個別的要因はない。

地 域 格 差：地価公示地の所在地域と対象不動産の所在地域を比較して、交通接近条件、街路条件、環境条件、行政的条件等を総合的に考量して判定した。

イ 個 別 格 差：下記の個別的要因を考慮して個別格差率を以下のとおり査定した。

・石積み擁壁がある -3% (0.97)

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：建物の現状、建物の経過年数、建物と敷地との適応の状態等を考慮した結果、-10%と査定した。(0.90)

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、次のとおり建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) エ = ア × イ × ウ
2	180,000	× 92.55	× 0.31	= 5,160,000

ア 再調達原価 : 対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。なお、屋根裏収納が存することも考慮した。

イ 現況延床面積 : 登記記載面積を採用。

ウ 現 価 率 : 建物の現況を考慮のうえ、残価率、経済的残存耐用年数を下記のとおり判定し、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して現価率を査定した。

- ・経過年数約17年、経済的残存耐用年数約8年、観察減価率15%、残価率5%
- ・観察減価については、建物の経過年数、建物の状態、間取り等の汎用性の程度、観察不能部分の不測の減価等を総合的に勘案して査定した。
- ・耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり査定した。

$$\text{現価率} : \begin{matrix} \text{(残価率)} & \text{(耐用年数に基づく方法)} & \text{(観察減価)} \\ 0.05 & + & (1-0.05) \times \frac{8}{(17+8)} \times (1-0.15) = 0.31 \end{matrix}$$

(小数第3位を四捨五入)

- ・経済的残存耐用年数は、物理的・機能的・経済的観点から建物の現況及び地域的特性の推移・動向等を考慮して査定したもので、税務上の耐用年数と一致するものではない。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して下記のとおり評価額を決定した。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ウ = ア × イ
1	9,240,000	× 0.70	法定地上権	= 6,470,000

ア 建付地価格：前記1 ① オ

イ 土地利用権等割合：売却により法定地上権が成立するものと解される。法定地上権割合は、近隣における借地権の取引慣行、課税上の割合等を参考に、建物の性質、地上権としての特性等を勘案して判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	評 価 額 (円) カ = (ア±イ) × ウ × エ × オ
1	9,240,000	- 6,470,000		× 1.0	× 0.8	= 2,220,000
2	5,160,000	+ 6,470,000	× 1.0	× 1.0	× 0.8	= 9,300,000
一括価格 (合計)						11,520,000

ア 基礎となる価格：前記1

イ 土地利用権等価格：上記2 ① ウ

ウ 占有減価修正：必要なし

エ 市場性修正：必要なし

オ 競売市場修正：「第2 評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。(0.8)

第6 参考価格資料

【 指標とした公示価格等 】

地価公示地「青梅-26」

価 格 時 点	令和8年1月1日
所 在 及 び 地 番	青梅市長淵4丁目256番6外
1 m ² 当 た り の 価 格	76,800円/m ²
地 積	100m ²
前 面 道 路 の 状 況	南西16m 国道
供 給 処 理 施 設 の 状 況	水道、下水
交 通 施 設 と の 接 近 の 状 況	「東青梅」駅 1.6 k m
法 令 上 の 制 限	1 住居 (60、200)、準防火
周 辺 の 土 地 の 利 用 の 現 況	一般住宅のほかに店舗等が見られる住宅地域

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写

以 上

イ 400-1 ハ 1389-7 ホ 443-3
 ロ 1389-5 ニ 482-10



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	青梅市長淵四丁目		地番	481番5		
出力縮尺	1/600	精度区分	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日		備付年月日(原図)		補記事項			

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(東京法務局西多摩支局管轄)

令和8年3月11日

東京法務局町田出張所

登記官

請求番号：25-1

(1/1)

A3をA4に縮小

地積測量図

番地 481-5、-6

土地の所在 青梅市長瀬四丁目

土地の所在 青梅市長瀬四丁目

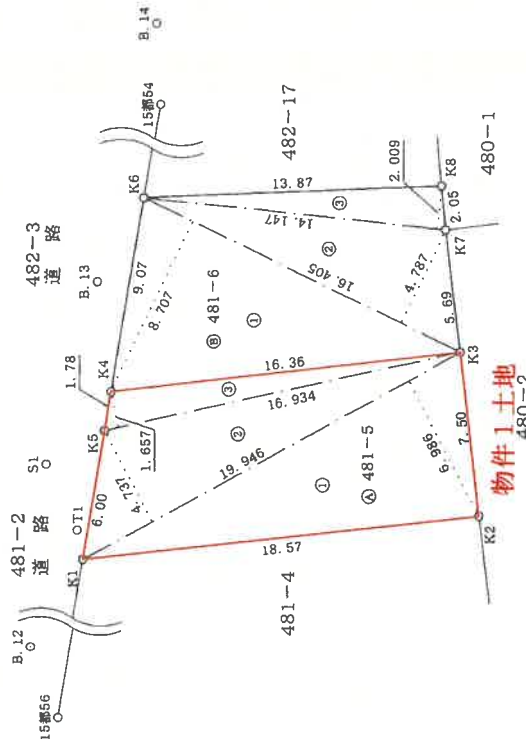
求積表

地番	底辺	高さ	底面積
① 481-5	19.946	6.986	139.34275
	19.946	4.737	94.48420
	16.934	1.657	28.05963
合計			261.88658
合計地積			130.9432500
			130.94 m ²

地番	底辺	高さ	底面積
② 481-6	16.405	8.707	142.83833
	16.405	4.787	78.53073
	14.147	2.009	28.42132
合計			249.79038
合計地積			124.8951900
			124.89 m ²

測点名	種別	X座標	Y座標
K1	コンクリート杭	-24328.515	-50804.868
K2	既プレート	-24345.536	-50812.315
K3	既プレート	-24348.454	-50805.405
K4	コンクリート杭	-24333.461	-50798.854
K5	部石標(15部56)	-24332.329	-50800.232
K6	コンクリート杭	-24339.222	-50791.844
K7	コンクリート杭	-24350.671	-50800.155
K8	既プレート	-24351.514	-50798.284
S1	15部56水準に刻	-24329.198	-50800.212
15部56	部石標	-24306.916	-50831.121
15部54	部石標	-24358.159	-50768.800
B.12	部4級基準点	-24307.396	-50827.656
B.13	部4級基準点	-24335.423	-50794.164
B.14	部4級基準点	-24359.842	-50765.464
T1	部4級	-24328.975	-50803.551

縮尺係数 0.999932



測地系	世界測地系
座標系	IX系
測量年月日	平成21年8月3日

報告書 No. 21-30

164408

縮尺 1/250

申請人

(平成21年8月5日作成)

作成者

(東京土地家屋調査士会用紙)

登記年月日：平成21年8月6日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(東京法務局西多摩支局管轄)

令和8年3月11日 東京法務局町田出張所

登記官

請求番号：25-2

A3をA4に縮小

建物図面・各階平面図写

建物図面

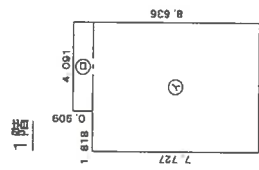
家屋番号 481-5

建物の所在 青梅市長瀬四丁目481番地5

各階平面図

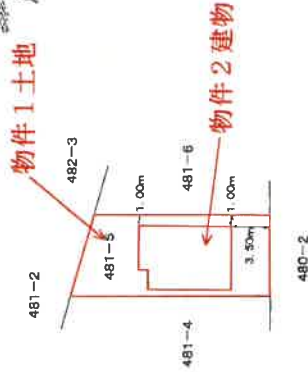
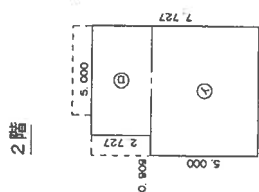
1階
 ① 5.909 × 7.727 = 45.658843
 ② 4.091 × 0.909 = 3.718719
 計 49.377562

床面積 49.37 m²



2階
 ① 5.909 × 5.000 = 29.545000
 ② 5.000 × 2.727 = 13.635000
 計 43.180000

床面積 43.18 m²



027023

縮尺 1/500

申請人

縮尺 1/250

縮尺

平成21年9月19日作成

作成者

登記年月日：平成21年9月24日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
 (東京法務局西多摩支高審廳)

令和8年3月11日 東京法務局町田出張所

登記官

請求番号：25-3

A3をA4に縮小